

入居者／介護者の皆様へ

2024年3月12日

フレイザー・ヘルスは、アシステッド・リビング・プロバイダーと協力し、アシステッド・リビングに医師を常駐させ、入居者の医療へのアクセスをより簡単で便利にする必要性を認識しています。入居者の多くが、地域のかかりつけ医を利用することが困難であり、施設内での受診を希望しているとの声を聞いています。このような懸念に対処するためには、アシステッド・リビングのケア・コミュニティで生活する入居者に提供されるケアが、患者中心であり、健康増進と生活の質に重点を置き、入居者個人の価値観やケアの目標に沿ったものであることが不可欠です。私たちは、アシステッド・リビングにおけるプライマリー・ケアの新しいオプション・モデルを開始することを発表いたします。家庭医がアシステッド・リビングのケア・コミュニティに付属し、定期的に入居者の診療を行います。アシステッド・リビング・ケア・コミュニティに勤務する家庭医は、興味のある入居者のケアを引き受け、地域の家庭医と同じ役割と責任を持って、入居者のためにフルサービスの家庭医として働きます。アシステッド・リビングの付属医との関係は任意であり、現在のかかりつけ家庭医に診察継続を望まれるなら、医師を変更する必要はありません。パナギオティス・タキ・ガラノプロス医師を日系ホームに迎え入れる事になりました。ガラノプロス医師は、ロス大学医学部の卒業生であり、ルイル大学家庭・老年医学科の研修医でした。自身の持つブルー・ウォーター・メディカル・クリニックでは、研修医やナース・プラクティショナーの学生を受け入れています。現在、バンクーバー家庭医学会の副会長を務めるほか、同学会やBC州医師会の様々な委員会やワーキンググループのメンバーとしても活躍しています。パナギオティス・ガラノプロス医師は、日系ホームで毎週若しくは隔週にて患者を診察します。彼の日系ホームでの診療にご興味のある方は、日系ホームのチームリーダー・コーディネーターであるタラ・パニョッタロまでご連絡ください。

敬具



Dr. アンバー・ジャーヴィー

FH アシステッドリビング医師団長



サマンサ・スティーブンス

FH アシステッドリビングディレクター